

Club Je Pense

2018年9月講義

言語ゲーム理論

言語ゲーム理論の提唱者



ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン

オーストリア出身の哲学者

言語哲学や分析哲学に大きな影響を与えた人物

言語ゲーム理論

箱の中のカブトムシ

言語ゲーム理論

2人の子供がそれぞれ

外からは中が見えない箱を持っている。

2人とも箱の中にカブトムシが入っていると言う。

実際はそれぞれの箱には別の生き物が入っているが

本人たちはそれをカブトムシだと信じている。

「僕、カブトムシ持ってるよ！」 「同じだ！僕も持ってる！」

この時

箱の中身はカブトムシということでもいいのでしょうか？

言語ゲーム理論

言葉の定義の合意がない状態での
コミュニケーションは無意味

言語ゲーム理論

じゃあ言葉の定義をしっかりと
確認すればいいのか？

言語ゲーム理論

それだけでは
何の解決にもなっていません

言語ゲーム理論

なぜなら

言葉を定義する際に使う言葉も
定義を確認する必要があります

言語ゲーム理論

さらに

言葉の定義を確認する際に使う言葉の定義を
確認しないといけません

言語ゲーム理論

例えば

「愛」とは相手に責任を持つことだよね

という「愛」の定義で合意するには
「相手」「責任」「持つ」という言葉の
定義の確認が必要

言語ゲーム理論

この場合の相手はとは
恋人？配偶者？家族？子供？親友？友達？

では「恋人」とは？
「親友」と「友達」の違いは？

言語ゲーム理論

というように

ある言葉の定義を確認するために次の言葉を使う
と更に定義の確認が必要になるため
定義の合意は永久に終わらない

言語ゲーム理論

あらゆる言葉の定義をすり合わせようとしても
言葉の意味はその文脈や使用する場面で変わるため
全て合意し合うことは現実的には不可能

言語ゲーム理論

また「合意する」という動詞についても
どの程度の納得で同意しているかは
確認することができない

言語ゲーム理論

よって

どこかで妥協する必要があるため
完璧に話が通じているということは
原理的に不可能です

言語ゲーム理論

むしろ

合意に至ろうとすればするほど

お互いの定義の違いが鮮明になってしまい

余計に相手がわからなくなるパラドックスを抱える

言語ゲーム理論

それでも

私たちは言葉によりコミュニケーションをとるしかないというジレンマを抱えている

言語ゲーム理論

つまり

二重の意味での「**適当**」「**いい加減**」

というバランス感覚が重要になる

言語ゲーム理論

なぜなら

言語によるコミュニケーションは
その時に言葉を交わす相手によって
そのルールが変わるため
それを上手に使い分けることが
良好な人間関係の構築には必要です

言語ゲーム理論

日本人同士だから日本語は通じる
は完全に勘違い

その相手（集団）によって
言葉の定義やルールが違うため
その構造を把握することが重要

言語ゲーム理論

例えば

男と女という大まかな分け方だけでも
言葉のルールが異なることが多い

言語ゲーム理論

女性は窓を開けて欲しくて男に対して

「窓開けない？」

と言った場合

男には

「あなたは窓を開けますか？」

という質問にしか聞こえないため

窓を開けてもらえないことがある

言語ゲーム理論

あるいは

男は1つのことしかできない動物なので

何か作業中をしている時に

「玄関の電球取り替えておいて」

と依頼をして男が「うん」と返事をして

男は内容が頭に入っていない場合も多い

言語ゲーム理論

これは「男と女」という分け方で
単純化した例ですが
ここに個人差が入ってくると
この問題はさらに複雑になってくる

ワーク

思考実験と言語化

思考実験とは…

科学的な原則に反しない条件に基づき
頭の中で思考して行う実験

思考実験1

砂時計

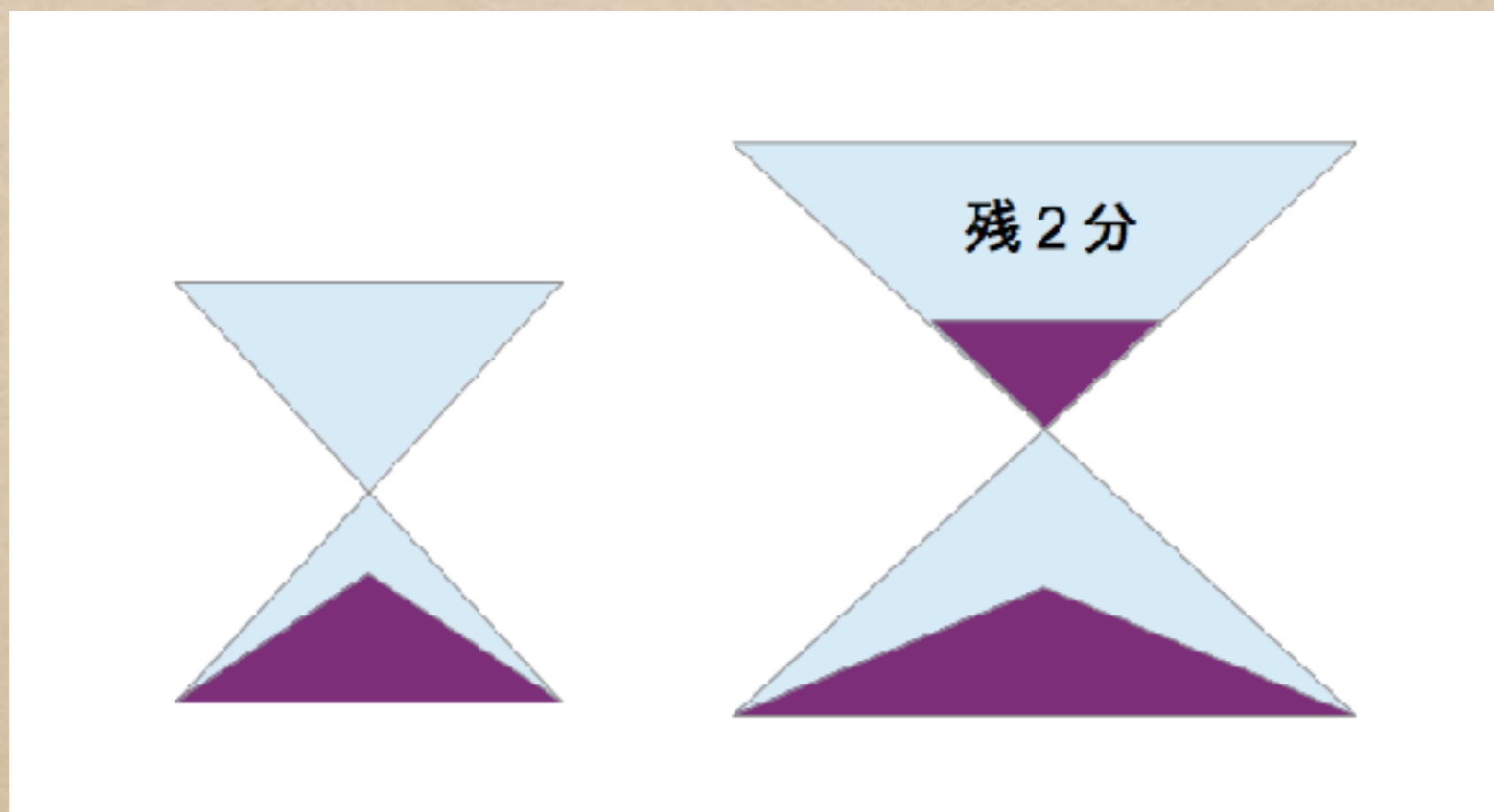
あなたには5分が計れる砂時計と3分が計れる砂時計が渡されました。

この2つの砂時計を使って正確に4分を測るにはどうしたらいいか考えてください。



① 3分計と5分計の砂時計を同時にスタートする

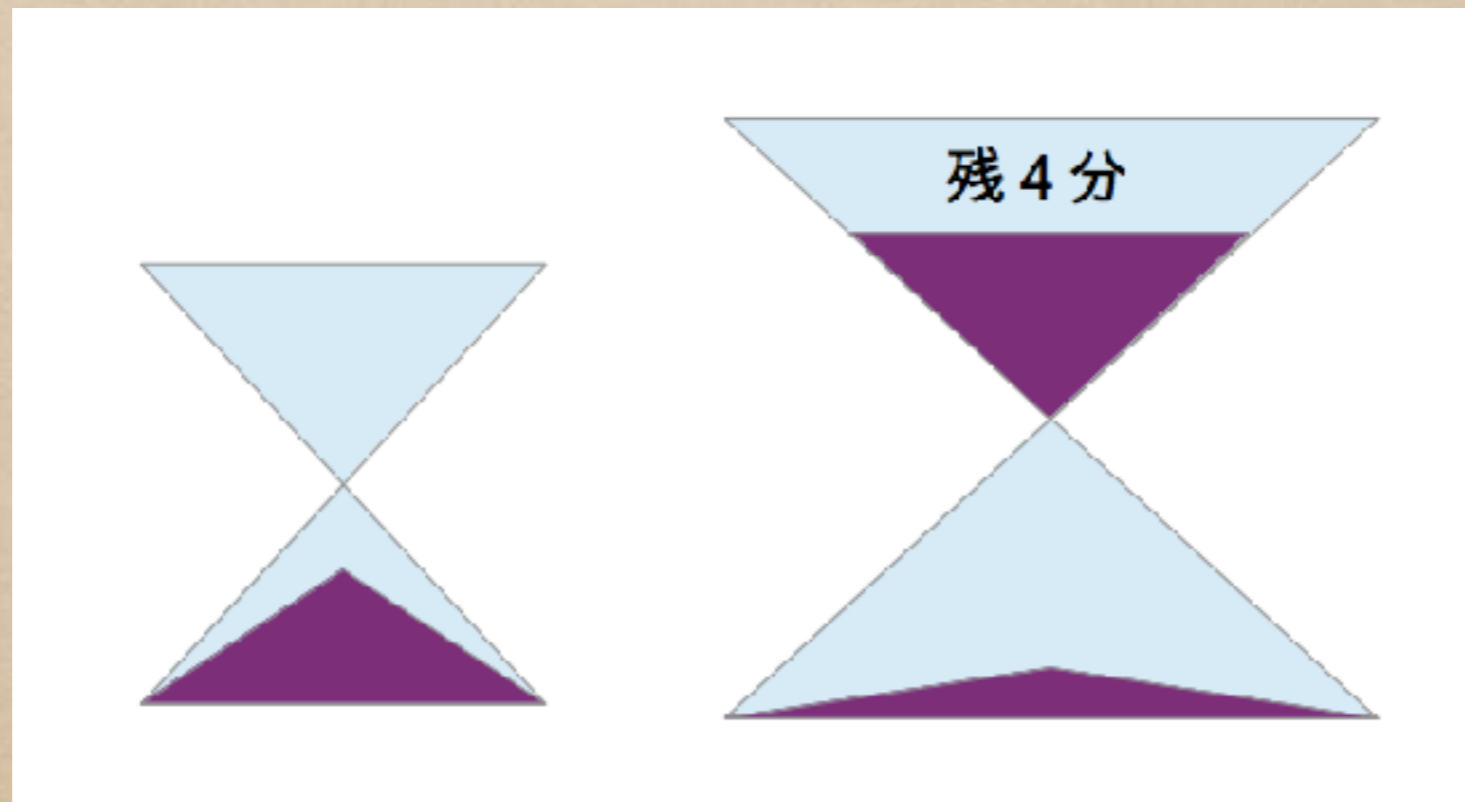
そうすると、3分計がなくなった時には5分計は残2分



- ② 5分計が残り2分の状態で3分計を再スタートする
そうすると、5分計がなくなった時には3分計は残り1分



- ③ 3分計が残り1分の状態で5分計を再スタートする
そして、3分計がなくなり5分計が残り4分になった時
4分を測り始めると5分計がなくなった時が4分ジャスト



思考実験2

抜き打ち試験

教師が「来週のどこかで抜き打ち試験を行う」と言った。

そこで生徒は考えた。

週の最後の金曜日に抜き打ち試験を行おうとすると、木曜に学校が終わった時点で明日が試験だとわかるから抜き打ちにならないので、金曜日はありえないと。

月	火	水	木	金	土	日
				×	休	休

では、金曜日には行われたいとするならば、木曜日だとしても水曜日に学校が終わった時点で明日が試験だとわかるから抜き打ちにならない。

月	火	水	木	金	土	日
			×	×	休	休

金曜でも木曜でもないとしたら、水曜日に抜き打ち試験があると仮定して、火曜日の学校が終わった時点で明日が試験だとわかるから抜き打ちにならない。

月	火	水	木	金	土	日
		×	×	×	休	休

そう考えると、

「結局、来週中に抜き打ち試験は実施できない」と生徒は考えました。

果たして、教師は抜き打ち試験ができないのか？

できると考えるのであればその論理的な理由を、

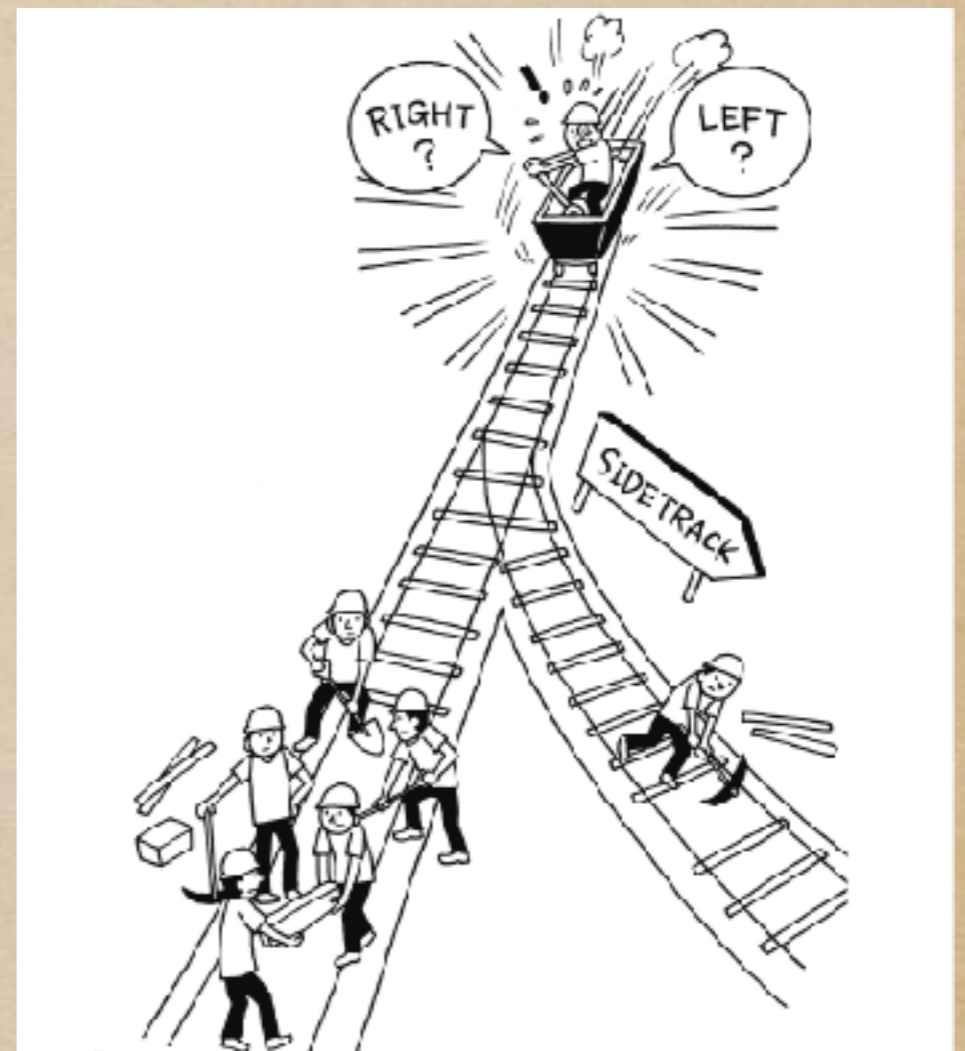
できないと考えるのであればその論理的な理由を説明してください。

思考実験3

トロッコ問題

あなたは鉱山でトロッコに乗っています。
トロッコが猛スピードで進む先には5人の
作業員が作業をしていて、このままだと5
人を轢き殺してしまいます。
あいにくブレーキは故障していて利きませ
ん。

しかし、道は二又に分かれていてハンド
ルを切ってもう1本の道に進めば5人を轢
き殺さずに済みますが、その道には1人の
作業員が作業をしています。
あなたはどちらの道に進むことを選
びますか？



今度は別の場面です。

あなたは橋の上から5人の作業員の中に突っ込んでいくトロッコを見えています。

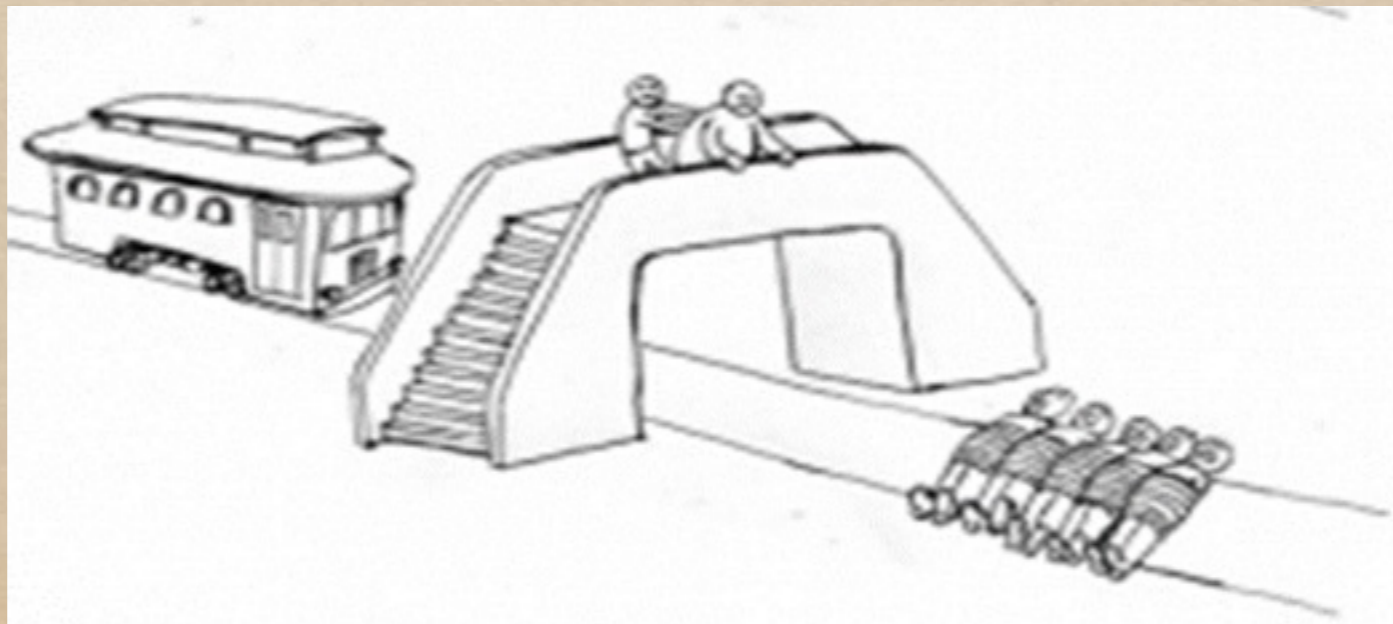
このままだと5人は死んでしまいます。

たまたま、隣に太った男が立っています。

この男を橋から突き落とせばトロッコの暴走は止まり5人の命を確実に助けることができますが、太った男は死んでしまいます。

あなたは5人を見殺しにしますか？

それとも太った男を突き落として5人を救いますか？



自分がトロッコに乗っている場合と、自分が橋の上からトロッコを見ている場合で、どちらも多くの人を助けなかったとしたら、それはなぜでしょうか？

その判断を正当化する論理的な説明をしてください。